



在京和歌山県人会会報 第177号

編集兼 鈴木 正規  
発行 兼 人

発行所 在京和歌山県人会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館12階

電話 (03) 5212-9057(代表)直通

FAX (03) 5212-9059

振替 00190-9-30239

(題字は初代野村会長筆)

# 謹賀新年

令和六年元旦



身分性別を問わず  
 全ての人を受け入れ  
 救い上げる聖地、熊野

紀伊山地の霊場と参詣道  
 世界遺産登録二十周年

熊野那智大社 (那智勝浦町)

写真提供：(公社)和歌山県観光連盟

## (目 次)

年頭のご挨拶.....	新春随想.....
本会会長・鈴木 正規…(1)	角田 典彦…(4)    川島 ケイジ…(5)
新春ごあいさつ.....	森 聰郎…(6)    東 利夫…(7)
和歌山県知事・岸 本周平…(2)	楠井 裕章…(8)
新年のご挨拶.....	郷土だより.....(9)
和歌山県議会議長・濱 口 太史…(3)	第2回 和歌山県人会 世界大会.....(12)
	同郷会・同窓会だより.....(14)
	令和5年度 在京和歌山県人会通常総会開催 (16)
	令和5年新入会員 ご紹介.....(22)

<p>三、</p> <p>ふいと和わ黒くく          るやこ歌か潮ろが          さ更さらし山のね          とにえはのし          はのののの</p> <p>伸の明あぶ軌み          つび若わか日き道ち          ねよさを呼はめゆくと          ねに栄さか乗のぶく          微笑えよりて</p>	<p>二、</p> <p>ふい汗あわ野の南なん          るやに歌かはやは国こく          さ更さら明あ山ま稔みの          とにけはりのの</p> <p>伸の火ひ幸さち息いぶ          つび花ばを街ち吹き          ねよに生うはたゆたか          ねに栄さか暮むおどる          微笑えよれて</p>	<p>一、</p> <p>ふい人ひと和わ陽ひほ          るやの歌かにはの          さ更さら和わ山ま映はぼ          とにとははゆのと          はののの</p> <p>伸の文ぶん常とこみか          つび化か春るは緑どお          ねよをののの起る          ねに栄さか添そくに起る          微笑えよて</p>
---	---	--

## 和歌山県民歌

西川好次郎 / 作詞  
 山田 耕筈 / 作曲

Andante maestoso

ほのぼのとかおるはまゆうひにはゆるみどりのき  
 ふくわかやまはとこはるのくにひとのわとぶんかをそ  
 えていやさらののびよさかえよふるさと一  
 はつねにほほえむ

2. なんご  
 3. ころが

### 和歌山県民歌の誕生

戦後間もない昭和23年(1948年)、篤志家から「後世に残るものを何か考  
 えてほしい」と和歌山フィルハーモニック・ソサイエティ委員長の竹中重  
 雄氏が依頼を受けて、県民歌の作詞・作曲の一般公募を行い、同年8月に  
 県民歌が誕生しました。作詞者は、小学校教諭の西川好次郎氏で、県内の市  
 町歌や校歌を多く作られています。

作曲者は、「赤とんぼ」「この道」「から  
 たちの花」で有名な山田耕筈氏で  
 す。作曲公募の中に優秀作品がな  
 かったため、選者である氏自らが作  
 曲を行いました。



QRコードから  
 県民歌を聴いてみよう!

## 年頭のご挨拶

在京和歌山県人会

会長 鈴木 正規



明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご健勝で良き新年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

昨年は、ロシアのウクライナ侵攻が続いたのに加え、中東においてハマスのテロ事件とその報復のためのイスラエルのガザ攻撃が起こるなど国際関係は大きく揺れました。国内においても、給与水準は上昇したもののインフレの昂進により実質的な生活が苦しくなるなどの問題が生じています。

また、環境面では二酸化炭素など温室効果ガスの濃度の上昇が続き気候変動の問題が今後長きにわたり大きな問題になることがほぼ確実となっているほか、日本においては人口減少や少子化、南海トラフ地震や首都圏直下型地震の懸念などが引き続き大きな不安要素となっています。

このように内外の社会、経済、環境は様々な問題を抱えていますが、こうした時こそ人と人のつながりが重要性を持つてくるような気がします。

和歌山県人会は会員相互の親睦や郷土の発展への寄与を目的としており、こうした問題の解決に直接、貢献できるとは考えていませんが、世代や業界、企業を越えた交流を通じ、人と人の結びつき作りのきっかけとなったり一助になるのではないかと考えています。

更に、人口減少や少子化問題等の問題を抱え、南海トラフ地震への対応や農業、林業、漁業などの振興など多くの課題を抱える和歌山県の状況打開へのヒントなど生み出せる可能性があるように思います。

昨年は、新たに徳川宜子氏が名誉会長に就任されるとともに、11月の総会で役員改選が行われ、10年の長きにわたり会長をされてきた谷口博昭氏が相談役につかれ、後任に私が選任されました。副会長には濱口道雄氏と瀧井道治氏が再任され、また理事や監事の皆様も改めて選任・再任されました。

今後、役員や会員の皆様のご協力、ご助力を得て、微力ですが、会員の皆様のお役に立てる、そして活力ある県人会に向け、努力していきたく思いますので、よろしく申し上げます。

なお、県人会とは別組織ですが、和歌山県出身の学生が首都圏の大学に通う際、低料金で部屋と食事を提供する（公益財団法人）和歌山県奨学会東京学生寮があります。県の発展は人づくりからの理念で設立されたものです。より多くの人にこうした制度があることを知っていただき、利用していただきたいと思っております。会員の皆様のご協力、ご支援をお願いいたします。

最後になりますが、皆様の今年一年のご多幸を心より、お祈りいたします。

## 2024年知事新春挨拶

和歌山県知事

岸本周平



謹んで、在京和歌山県人会の皆様には新春のお慶びを申し上げます。

知事に就任してから一年が経ちました。この間、県内32ヵ所で「タウンミーティング」を開催し、県民の皆様から直接御意見を聴く中で気付いた課題の解決に取り組んでまいりました。

県としましては、「D E I」すなわち、多様性（D：ダイバーシティ）、公平（E：エクイティ）、包摂（I：インクルージョン）を大切にしていきたいと考えています。すべての個人の幸福追求の権利を実現するため、「和歌山県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」の制定や「和歌山県部落差別の解消の推進に関する条例」の改正を実施し、和歌山県パートナーシップ宣誓制度の導入に取り組んでいるところです。また、昨年6月の台風第2号による災害に対して早期の災害復旧を行うことに加え、国土強靱化、防災・減災の事業も実施しています。

本年は、引き続き、農業、林業、水産業などの一次産業を活性化させるほか、世界遺産登録20周年を迎える「紀伊山地の霊場と参詣道」を中心に、新たに作成したキャッチフレーズ「聖地リゾート！和歌山」とロゴマークを活用した観光産業の振興に取り組みます。また、子供の健やかな成長の促進を図るため、令和7年度までの全小学校区における「子供食堂」の開設を推進するなど、子育て世帯を支援してまいります。

そして、世界的に脱炭素社会へと進む中、和歌山県が脱炭素社会先進県となることを目指し、カーボンクレジットの創出に向けた取組や再生可能エネルギーの導入促進などにおいて、県民の皆様や県内の企業との協働を進めてまいります。

さらに、県立串本古座高等学校では、公立高校として全国初となる宇宙専門コースの新設が予定されております。大学や研究機関、宇宙産業関連企業等と連携した探究的な学びを通して、宇宙教育を推進してまいります。

結びに、新しい一年が、皆様にとって輝かしい年となりますことをお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

和歌山県議会議長

濱口太史



明けましておめでとうございます。

在京和歌山県人会の皆さまには、健やかに令和6年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、4年ぶりとなる「第2回和歌山県人会世界大会」を開催し、貴県人会の会員さまにも御参加いただき、県人会の交流やつながりを一層深めてくださり、心より感謝申し上げます。

本年は、「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年や、中国 山東省との友好提携40周年を迎え、国内外から多くの観光客が見込まれます。そして、本県の魅力を実感していただくことで、令和7年には「大阪・関西万博」との相乗効果により、さらに観光客の増加が期待されるところです。

ご存じのとおり本県は山間部が多く過疎化が進んでいますが、自動運転やドローンなどの新しい技術を積極的に活用することで、生活の利便性や生産性の向上を図ることが重要です。

特に紀南地方では、小型ロケットの打ち上げや高等学校への宇宙探求コースの新設など、若者への希望のメッセージが続き、雇用の創出にも期待が寄せられているところです。

さらに、コロナ禍で一変したりリモートワークなどの働き方は、自然豊かな本県への追い風となりました。これらのチャンスを逃すことなく、都会の方々から興味を持っていただき、移住・定住につながる環境づくりや積極的な活動が必要です。貴県人会の皆さまにも本県セールスの一翼を担っていただくと幸いです。

今後起こりうる南海トラフ地震や豪雨災害などへの防災対策については、濱口梧陵初代議長の教えにも従い、備えの再点検や避難訓練並びに防災教育の実施が大切です。県議会といたしましては、地域の活性化はもちろんのこと、道路等社会基盤、避難施設、発災後の医療体制整備など、県民の皆さまの命と暮らしを守る防災・減災、国土強靱化対策等により一層努めてまいります。

結びに、在京和歌山県人会のますますの御発展と、新しい年が県人会の皆さまにとって素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新春の御挨拶といたします。





新春随想

## お雑煮雑感

角田典彦

(和歌山市出身)

(昭和41年生)

新春といえば、毎年楽しみで、私が最も正月感を感じるのが「お雑煮」です。

「お雑煮」の語源は、さまざまな具材を混ぜて煮合わせたこと、と言われています。

「お雑煮」に欠かせないのが「お餅」ですが、お正月に年神様をお迎えするために、前年に収穫したお米から作った「お餅」をお供えし、そのお下がりとしてお雑煮として頂くことが「お雑煮」の始まりで、平安時代の頃とのことです。

この「お雑煮」の種類はとても多く、各地の地場の食材を使っていることから、全国で100種を超えるほどのことです。変わり種を取り上げると、岩手県では、「くるみ雑煮」という、お雑煮のお餅を、つけ麺のように擦ったくるみに砂糖と醤油で味付けしたタレにつけて食べる習わしがあったり、香川県では、あんこ入りの甘いお餅を雑煮に入れて食べるそうです。

こうした「お雑煮」の種類をマトリクス化しますと、主に、「お餅の形状・焼き or 煮る」、「味付け」、「具材」によって、分けられるようです。まず、お餅は、関ヶ原の古戦場を境に、西側が丸餅、東側が四角い切り餅が多いようです。和歌山をはじめ関西では、円満を意味する縁起の良さから丸餅が喜ばれる一方、江戸など人口密集地であった関東では、一度に沢山作りやすい切り餅が使われていたという説があります。さらに、関西では煮る餅、関東では焼き餅が多いですね。次に、味付けは、和歌山をはじめ関西は白味噌が多い一方、関東では、昆布とかつお節でとったすまし汁立てです。具材は、大根や人参といった定番野菜以外では、新潟の鮭、千葉の青のり、広島のお牡蠣等、ご当地物が多いようです。ご存じの通り、和歌山では、白みそ味で、丸餅を煮て、具材は大根、人参がベースですが、和歌山の中でも、地域によって違いがあつて、日高川町やすさみ町では、干した鮎でダシを取ったり、田辺市では、豆腐やアゲも入るようです。さらに各家庭でも色々なバリエーションがありますね。わが家は、長く東京住まいですので、毎年のお雑煮は、和歌山から取り寄せ

た丸餅を焼いて、すまし仕立て、具材は、小松菜、人参、しいたけという、関西 & 関東の良いところ取りのハイブリッドお雑煮を楽しんでいます。

県人会の皆様も、新春を各家庭で色々なお雑煮を楽しまれたことと存じます。こうした日本ならではの、和歌山ならではの良い伝統は、ずっと守り続けていきたいですね。





新春随想

## ロックスピリット

シンガーソングライター 川島 ケイジ  
(みなべ町出身)

幼い頃から憧れていたロックスターを目指し上京した時、東京の街は華やかで光溢れ輝いて見えました。そんな中、夢の追いかけ方も何をして良いのかも分からないまま無我夢中で赤いグレッッチギターを持ちNHKホール前の並木通りでストリートライブを始めました。ロックバンドの名残があるエレキギターをかき鳴らし、シャウト交じりの弾き語りにゆずが全盛期の時代に耳を傾けてくれる人は居ませんでした。寒空の下、身も心も凍え、和歌山発のロックスターを夢見る若者の自信はことごとく崩れ去りました。

そこから自分と深く向き合う日々が続きました。それからシャウトをするのをやめ、難しい言葉を使うことがカッコイイという勘違いをやめ、どんな言葉だと伝わるのか、自分が聞き手ならどんな言葉を欲しているのか極限まで言葉をシンプルにしてエレキギターからフォークギターに持ち替えて伝わるように届くように歌い始めて今のスタイルがあります。

今、東京の街は昔ほど華やかで大きな場所ではなくなりましたが、それでも時々眩し過ぎて見えなくなることがあります。そんな時、地元に戻り信号機も街灯もまばらな道を月の光りを頼りに歩いていると大切なことを思い出させてくれます。

ロックスターを目指していた少年は令和五年度の和歌山文化奨励賞を受賞させていただくことになりました。辛い時も苦しい時もただ諦め方がわからず歌を歌い続けてきて本当に良かったと感じています。

大好きなことを続けられる幸せを噛み締めながら支えてくれる皆様のお蔭で生かされていることを忘れずに今年も前進してまいります。そして、今度は自分が皆さまの光になれるようたくさんの歌を届けたいと思います。

継続と信頼の大切さ、そして人生を選び作るのは自分だと教えてくれた尊敬すべき方々に感謝を込めて。





## 木曜島和歌山県人会

森 聡 郎  
(古座川町出身)  
(昭和37年生)

2023年9月8日、第二回和歌山県人会世界大会が開催された。オーストラリアの木曜島から51人が参加の御予定と伺い、私もいそいそと参加する事に相成った。というのも、私の祖父（森 豊勝）と祖父の叔父（森 島吉）が、木曜島に出稼ぎに行っていたからである。▼祖父は1892年、和歌山県東牟婁郡高池町池野山851番地に森豊松の長男として生まれた。他の村人と同じく、山仕事、炭焼き、農家で生計を立てていた。折しも、叔父島吉が木曜島で一旗揚げ、帰国するなり立派な家を建てた。祖父は、それを見て大いに発奮し、1913年、オーストラリアの木曜島に出稼ぎに行く決意をする。▼大阪から船で、香港、クアラルンプール、ジャカルタを経て木曜島に到着。船上から水夫にポンプを手で回して空気を送る仕事を得た。祖父は海辺の育ちでないので深く潜れなかったかららしい。船上では煙草や紅茶が飲み放題。日給は8セント（オーストラリアドル）。それでも、南紀州で山仕事するより良かった。一方、現地の新聞配達の小僧が日給10セントだったとの事。いづれにしても、祖父の6か月の木曜島生活は意外な理由で終了する。第一次世界大戦が勃発し、日本人は皆国外退去となったからだ。渡航費用や仲介料などが借金として残った。

▼会場で、木曜島県人会の方を探して祖父と祖父の叔父の写真を見せ、祖父の木曜島出稼ぎ顛末記をお話した。彼らも、祖父や曾祖父が木曜島に渡った様で、写真や家系図を見せてくれた。お一人は、



紀伊大島の船大工さんのご子孫で、この家族は今では曾曾孫が50人もいるらしい。以前訪ねた時、ご親類が大島で電気屋をやっていたので今回も訪ねてみたが、店も屋敷も見つからなかったと言う。私は何らかの縁を感じて、ご親類探しのお手伝いを買って出た。何か少しでもお役に立てれば良いのですが、、、



新春随想

## 親は居なくても子は育った。皆様に感謝。

東 利 夫  
(海南省出身)  
(昭和5年生)

謹賀新年。私は現在の海南省日方で生まれた。母方は紀州公許認の庄屋だったが、祖父の死後没落した。少年の頃、和歌山女子師範学校附属日方小学校の中村正寿先生（生物学）と県立海南中学校長の佐藤要三先生（東北帝大大学院出身、宮城県ルーツの人）の世話になった。「東京の国立大学に進みなさい」と勧められたのだが、大戦終結前年に母と父を相次いで病気で亡くし、やむなく進学を断念し、試験を受けて和歌山県庁に入庁した。

県庁に入った私に間もなく人生の転機が訪れた。上司各位のご支援で、霞が関の中央官庁派遣を経て東京事務所配属となり、多様な仕事に従事する傍ら、神田駿河台の「ロシア正教ニコライ堂」近くの大学法学部を卒業できたのである。「頭脳集団、県庁」は、中学卒業後、進路の見えない状態だった私を助けてくれ、能力を伸ばしてくれた。父方の祖父も喜んでくれた。皆様のご支援があったからこそ、私は母方の祖父の遺伝子を活用して努力し、今日に至ることができたのである。

往時を振り返ると、今「JR高輪ゲートウェイ駅」がある近くに、ポーランドから米国に亡命したユダヤ人ザレッキー氏が経営する「英語塾フレンド」があり、週末に通った。東京文化会館でコサック騎兵のダンスと音楽を鑑賞し、日比谷の帝国劇場ではヤッシャ・ハイフェッツが演奏するベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を聴いた。ハイフェッツはナチスの迫害から米国に亡命したユダヤ人であり、前掲のザレッキー氏は「カチンの森の恐怖」から逃げ延びた人だ。塾講師の一人は、キース氏という、元英国陸軍中佐で横浜市保土ケ谷の英連邦軍人墓地管理者だった。こうして、私は英語とベートーヴェンが大好きになった。私の元気の源泉でもある。今や「県庁で英語は不要」と言った先輩の時代とは隔世の感がある。私は93歳、東京事務所勤務時に結婚した妻（鎌倉幕府要人直属武家の子孫）は92歳。元気に世田谷区で暮らしている。ベートーヴェンの曲で高揚する半生を元気と感謝で送りたい。皆様のご健勝をお祈りします。





新春随想

## 東京学生寮と“獅子吼”

海草・向陽高校東京地区同窓会顧問 楠井裕章

(和歌山市出身)

(昭和18年生)

2022年の秋、和歌山県人会総会に久しぶりに出席し、和歌山県東京学生寮長と同席させていただきました。

東京学生寮は、私にとっても、懐かしい所です。昔の話になりますが、昭和38年春、大学入学と同時に、調布市八雲台の学生寮に入寮（当時は二人一部屋）。京王線国領駅から高田馬場迄、通学する日々が始まりました。翌39年、東京オリンピックのマラソンを近くの甲州街道で観戦しました。寮のまわりには、武蔵野の風景があり、深大寺も散策の場でした。

寮自治会機関紙“獅子吼”第7号の編集のお手伝いしたこと、寄付の御願いに諸先輩、議員会館などに、お邪魔した事など思い出すことが、多々あります。中でも、昭和39年5月、名誉寮長野村吉三郎先生が逝去され、青山葬儀場に寮生も参列したことは、印象深い思い出として残っています。

野村吉三郎先生のごことは、当時の寮長佐藤要三先生より、時々話を伺っていました。

学生寮の創設者であり、海軍大将、枢密院顧問、外相、特に駐米大使として、米国との戦争回避を願って、真珠湾攻撃の日迄、日米交渉に努められた。戦後は、参議院議員として、我が国の国防につくされた、日本近代史に確かな足跡を残された人物です。

寮の自治会機関紙“獅子吼”の題字も野村先生の揮毫によるものです。

佐藤先生より、よく聞かされた野村先生の好きな言葉、

**“天は、自ら助けるものを助く”**

この言葉は、和歌山中学（桐蔭高校）校門に先生の筆による碑があると聞いています。

この自立の精神が、野村先生のバックボーンであったのであろうと推察します。

現在の若い寮生の皆さんが、この自立の精神を身に付け、それぞれの分野で大いに活躍されることを期待しています。

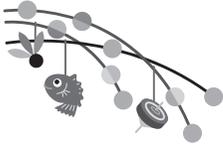
最近の日経新聞に陸奥宗光の若いころが、小説となっています。天才南方熊楠、松下幸之助の後、野村吉三郎先生が和歌山県が生んだ歴史上の人物として、脚光を浴びることを望みます。

また寮機関紙“獅子吼”が、現在も継続的に発行しているのか、していれば何号なのか、次総会でお聞きしたいものです。

新年に当たり、県人会の皆様のご多幸、御健勝を念じております。



多謝



## 郷土だより

### “聖地リゾート！ 和歌山”

#### ～和歌山県観光プロモーションの 新しいキャッチフレーズ～

令和5年8月、和歌山県は、県の魅力を最大限に伝えるため、新しいキャッチフレーズ“聖地リゾート！ 和歌山”を発表しました。

これからの和歌山の観光を売り出していくのに大切な三つの「S」。一つは高野山・熊野に代表される「Spirituality（精神性）」、SDGsにも繋がる本県の自然の豊かさに象徴される「Sustainability（持続可能性）」。そして、豊かな自然から生み出される上質な「Serenity（静謐さや静けさ）」。この三つの「S」が揃う和歌山は、古くから神々の棲む聖地だけでなく、豊かな自然に育まれた文化・歴史、温泉、食、アミューズメントといった様々な聖地をうみ出し、併せて全ての人々を寛容に迎え入れ、訪れた人々の心や体を癒してくれるリゾート地として親しまれてきました。

令和6年の世界遺産登録20周年や令和7年の大阪・関西万博といった、本県観光産業にとって追い風となるビッグイベントが目白押しの好機を迎えるにあたり、県では、日本人の聖地であり、リゾート地でもある旅のふるさと「和歌山」のすば

らしさを実感していた  
だけ、全国のお客  
様に向け“聖地リゾ  
ート！和歌山”の魅  
力を提案していくこ  
として  
います。



### 県議会議長に濱口太史議長が就任

和歌山県議会は昨年5月17日の臨時議会で濱口太史議員（新宮市選挙区、4期目、自民党）を第93代議長に、中本浩精議員（橋本市選挙区、4期目、自民党）を第99代副議長に選任。濱口議長は、「初代議長 濱口 梧陵 先生と同じ濱口姓を持つ私と致しましては、自然災害の脅威から県民の生命・財産・暮らしを守るために、特に力を尽くしてまいります」と抱負を語っています。



### 大阪・関西万博に向けた 和歌山県版アクションプランを策定

「2025年大阪・関西万博」の開催に向け、和歌山県では、令和5年7月に「和歌山県版アクションプラン」を策定しました。具体的には、関西広域連合が設ける「関西パビリオン」内の「和歌山ゾーン」において、「和歌山百景－霊性の大地－」をテーマに、神話時代から続く和歌山の精神文化から育まれた、自然・人・産業・食・文化などの多様な魅力を「“上質”のつまった和歌山」というコンセプトで展示・発信します。また、会場内で県内各地の魅力ある資源や取組などを国内外に発信する催事を企画します。さらに、県内での機運醸成イベントの開催をはじめ、国内外からの誘客に向け、商品造成や誘客プロモーションを実施するなど様々な取組を予定しています。

県では、こうした取組を強力で推進し、万博の成功はもちろん、その経済効果をも本県にも最大限

に波及させることで県内の地域活性化につなげていくこととしています。

令和5年度和歌山県文化賞が決定 11月28日  
～本会理事の川島ケイジさんが  
文化奨励賞を受賞

令和5年度の県文化表彰の受賞者4人1団体が決定。文化の向上発展に顕著な行政を示した方に贈られる県文化賞に小中学生時代を湯浅町、串本町、田辺市で過ごした現代美術家の松谷武判さんが選ばれました。

また、文化功労賞には和歌山市出身の歌人・松山馨さん、文化奨励賞には本会理事でみなべ町出身のシンガーソングライター・川島ケイジさん、和歌山市出身の補綴家・木ノ下裕一さん、和歌山の民話や史実にもとづく物語をオリジナルの音楽劇として上演する「紀州の民話をオペラに実行委員会」が選ばれました。

川島さんは、「生まれ育ててくれた青く澄んだ空、雄大な山々、春に魁けて咲く気高い梅花、そしてお世話になった方々へ恩返しができるよう、歌を通して日本そして世界へ届けてまいります。」とコメントしています。

「第9回アジア・オセアニア高校生フォーラム」  
開催

県内外の高校生とアジア・オセアニアの国や地域の高校生が、世界共通の様々な課題について英語で意見を交わす「アジア・オセアニア高校生フォーラム」が、令和5年7月29日から8月2日に開催されました。このフォーラムは、広い視野で物事を捉える力と、様々な国や地域の人達とコミュニケーションを図る力を養い、国際社会で活躍できるリーダーを育成することを目的とするも



アジア・オセアニア高校生フォーラム

のです。

今回は、4年ぶりに対面形式かつ海外参加者との英語合宿形式での開催となり、国内外から34校46名の生徒と、全体会・分科会を合わせて延べ約500名の聴講者が参加しました。高校生達は、「津波・防災対策」「環境問題」「ダイバーシティ問題」「教育問題」「食糧問題」の分科会に分かれてお互いの理解を深めるとともに、最終日には分科会の意見をとりまとめたプレゼンテーションを行い、それぞれの課題解決に向けて積極的に意見を交換しました。

参加した生徒からは、「自分はまだまだ世界で起きていることを全く知らないと思い知らされた。これからは世界で起きている問題に目を向け、情報に敏感になり、より一層英語力を磨こうと思った」などの感想が聞かれました。

「高野山会議2023」が開催

令和5年7月13日～16日の4日間、高野山真言宗総本山金剛峯寺等を舞台に、東京大学先端科学技術研究センター（先端研）が主催し、県等が共催する形で、「Nature-Centered」の視点から1200年後の未来を語る「高野山会議2023」が開催されました。高野山会議は、科学・芸術・デザイン・哲学・宗教など様々な分野の人々と地元和歌山の人々が集まって、1200年後の世界を見据え、自然と協調・共存し、よりよい未来のかたちを考



高野山会議2023



南港山東線

え、実践するために設立されたユニークな科学文学術会議であり、今回で3回目の開催となります。

会議では、参加者が「和の芸術とデザイン」「インクルーシブデザイン」「次世代育成」「高野山のまちと人」「瞑想:自然と一体化した境地」をテーマとする5つのセッションなどを通じ、1200年後の世界との関わり等について考えました。



### 鈴木屋敷復元完成

全国の鈴木姓のルーツと言われる「鈴木屋敷」(海南市藤白)の再生・復元工事が完了し、令和5年3月30日に完成を祝う神事と式典が開催されました。この「鈴木屋敷」は、平安末期ごろに熊野から移り住んできた鈴木氏が、熊野信仰を広める拠点としていた場所です。熊野信仰とともに、鈴木姓は全国へと広がりました。なお、鈴木屋敷は藤白神社境内にあり、全体が国史跡藤白王子跡に指定されています。



### 都市計画道路南港山東線が完成

最後の区間である西浜三丁目～関戸一丁目までの920mが令和5年2月23日に完成し、全線(和歌山市西浜～和歌山市吉礼 延長 8.0km)の整備が完了。これにより、国際拠点港湾和歌山下津港と阪和自動車道と歌山南スマートインターチェンジを結ぶ幹線道路として、産業振興や観光振興等に寄与するとともに、緊急輸送道路(第一次)として、災害発生時の救助・救急・消火活動及び避難者への物資輸送の円滑化が図られます。



# 第2回 和歌山県人会 世界大会

## 「記念式典・歓迎レセプション」

令和5年10月8日(日)

- 国内外の和歌山県人が一堂に会する「和歌山県人会世界大会」が4年ぶりに開催され、海外10県人会、国内6県人会から前回は上回る約500名がふるさと和歌山に集いました。
- 在京和歌山県人会からは、徳川宜子名誉会長、杉若吉彦常任理事、藤田和子理事、東裕監事、森聰郎監事、久保田真実事務局書記が10月8日に催された記念式典・歓迎レセプション等に参加し、国内外の県人会の皆さんと交流を深めました。

### 和歌山県人会長会議

式典に先立ち、各県人会の代表による県人会長会議が開催され、本会からは杉若吉彦常任理事が出席しました。

会議では、各県人会の近況等について意見交換が行われ、大会宣言が満場一致で承認されました。

なお、今回参加した県人会は、海外からアルゼンチン、オーストラリア木曜島、ブラジル、東部カナダ、メキシコ、ペルー、南加（ロスアンゼルス）、シアトル、韓国、ニューヨークの10県人会であり、国内からは在京、当会、京都、大阪、堺、神戸の6県人会です。

### 記念式典

県民文化会館で開かれた記念式典では、参加県人会が順番に紹介されたのち、岸本周平知事から参加各県人会に記念のタペストリーが贈呈されました。



杉若常任理事へ記念品贈呈

岸本県知事挨拶



記念式典

式典の締めくくりとして、ケイティ・カニングハムさん（シアトル）とリュウジ カミダさん（アルゼンチン）が「故郷への誇りと自信を深めるため、そのつながりを将来にわたって育んでいくことをここに宣言します」と大会宣言を行いました。

## 記念コンサート

続いて行われた記念コンサートでは、和歌山県出身の藪下将人さんとsinger SAYAKAさんが「おどるんや～紀州よさこい祭り」とのコラボレーションを披露し、会場全体が一体となって多いに盛り上がりました。



感動の式典フィナーレ

## 歓迎レセプション

記念コンサートの熱気の冷めやらぬ中、会場をアバローム紀の国に移して歓迎レセプションが行われました。



鏡開き 徳川名誉会長

鏡開き 杉若常任理事

各県人会代表や来賓による鏡開きには、本会の徳川宜子名誉会長、杉若吉彦常任理事が参加しました。会場では参加者の皆さんが交流を深めるとともに、海外県人会の皆さんによるパフォーマンスも披露され、大いに盛り上がりました。



メキシコ和歌山県人会のパフォーマンス

## 和歌山体験ブース

記念式典に先駆け、アバローム紀の国では和歌山体験ブースが設けられました。

ふるさと和歌山が誇る伝統文化、食文化の体験。梅ジュースづくり、フルーツアレンジ、和菓子づくり、時代衣装・平安衣装、漆器蒔絵・大正琴・紀州松煙墨書道を体験することが出来ました。いずれのブースも大盛況で予約でいっぱいでした。

ルーツを同じくする者同士、国境を越えての交流がありました。



和歌山体験ブースの様子



和菓子づくり体験



平安衣装体験



## 同郷会・同窓会だより

### 第98回「東京和工会」総会・懇親会開催

日時：令和5年11月23日（祝日）14:00～17:00

場所：学生会館

第98回「東京和工会」総会・懇親会は昨年引き続き対面で、50名弱で開催されました。

年次総会に続き来賓挨拶の後、懇親会ではマジックショーやビンゴゲームを楽しみ、皆で懐かしい校歌合唱、次年度及び2年後の100周年での再会を楽しみに閉会しました。

HP URLは <https://tokyowakokai.jimdofree.com>



### 令和5年 紀友会 活動だより

■定例交流会：2月（三田）・6月（大手町）・10月（銀座）

■スピノフ交流会：映画鑑賞会・新しい教育を目指す

新設校紹介

<定例交流会>

2月：現役大学生が和歌山の逸品を発掘・販売する『アナザージャパン』の活動&ぐるなびが和歌山で仕掛ける挑戦を紹介。6月：串本から打上げるロケットと新たな宇宙産業の紹介。10月：和歌山から起業した挑戦者たちの熱きプレゼン会。

<スピノフ交流会> 監督と楽しむ映画鑑賞会『あつむなさわぎ』『ふまじめ通信』、うつほの杜学園と串本古座高校で始まる新しい教育の紹介。

来年も楽しい企画がてんこ盛り。どうぞご期待ください！

（会長 山本充彦）



入会のお申し込み

右のQRコードより  
紀友会HPにて連絡メール等  
必要事項をご記入下さい



入会金・年会費：無料

### 令和5年度「和歌山大学経済学部柑芦会東京支部総会」開催

日時：令和5年9月23日（土・祝）10:30～14:00 場所：損保会館 大会議室

「和歌山大学経済学部柑芦会東京支部総会」（小林淳支部長）が昨年9月23日（土・祝）、損保会館大会議室にて開催。

和歌山大学経済学部学部長 金川めぐみ教授から「研究人生を改めて振り返る～和歌山の人々と、ともに歩んだ20年～」と題した講演を拝聴。4年ぶりとなる懇親会には現役和大学生 滝下連太郎さん、和大OB 少名子遼太さん（本宮町）、西山泰仙さん（印南町）の活躍の紹介。わかやま紀州館 miniの梅酒堂（梅酒）、縁梅（梅干し）の物販もあり盛り上りました。



## 令和5年度「東京橋本会」総会・親睦会開催

日時：令和5年10月7日(土) 11:00～14:00  
 場所：東京グリーンパレス（東京都千代田区二番町2番地）

「東京橋本会」の総会・親睦会が4年ぶりに開催されました。

今回の総会で、15年間会長として本会運営にご貢献いただいた西川元啓様が退任され、後任に在京和歌山県人会の副会長でもある瀧井道治様が選任され、新たな体制で運営を進めていくこととなりました。

また、親睦会では約50名の参加者が集い、本市出身で世界的に活躍されている尺八演奏家の辻本好美様の演奏や、豪華景品が当たる抽選会が実施されるなど盛大に開催されました。



## 令和5年度 第19回 南紀田辺会総会・懇親会 開催

日時：令和5年10月14日(土) 11:30～16:00 場所：ルポール麹町「エメラルド・マーブル」

首都圏在住で紀南地方の高校卒業生らでつくる「南紀田辺会」(山形友紀会長)は田辺等からの出席者を含め86名が集い旧交を温めた。

総会では、役員改選も行われ、次期会長・大門一成氏(平成6年卒)等が選出された。

総会后、田辺に魅了され10年近く通い続けているという文筆家・甲斐みのりさんの「わたしの田辺のたのしみ方」と題する講演が行われ、その後の懇親会では西嶋淳田辺高校校長(昭和58年卒)のご発声により地元産の梅酒で乾杯、地元情報の紹介や世代を越えての話題などで交流を深めた。

次回は令和6年10月19日(土)に同じ場所で開催予定。(副会長 杉若吉彦)



## 令和5年度 向陽高校・東京地区同窓会を開催

日時：5月28日(日) 12:00～14:00 場所：おおさき季膳房 (JR大崎駅近く)

向陽高校・東京地区同窓会(楠井裕章会長)は5月28日(日)に、4年ぶりに開催され、81名の同窓生が出席して旧交を温めました。コロナ禍を経て久々の開催となりましたが、SNS等で告知したこともあり、若い世代の参加も増え、賑やかな同窓会となりました。

また、懇親会企画として「和歌山県と向陽高校の未来」と題したパネルディスカッションを行い、向陽高校や和歌山に対する思いを皆で共有しました。

なお、役員の変更も行われ、次期会長に岡田真幸氏が就任しました。



## 令和5年度 在京和歌山県人会通常総会開催

日時 令和5年11月12日（日）12：00～14：30

場所 ホテル ルポール麴町「ロイヤル・クリスタルの間」

令和5年度在京和歌山県人会総会・交流会は、令和5年11月12日（日）にルポール麴町にて開催されました。感染症法上の新型コロナウイルス感染症位置づけが5類に変更され、感染状況も落ち着いてきたことから、令和5年度は、4年ぶりにコロナ禍前のスタイルで開催することができました。

在京和歌山県人会は、昭和34年に会員相互の親睦を図り、併せて郷土の発展に寄与することを目的に設立されて以来、昨年で65周年を迎えることができました。

令和5年度の総会では、10年間にわたり本会をリードされてきた谷口博昭会長が退任され、新たに鈴木正規さんが新会長に選出されるとともに、退任される日根かがり常任理事、廣浦康勝理事に代わり新たに湯川学常任理事、角田典彦理事及び川島ケイジ理事が選出されました。これに先立ち、令和5年6月には、徳川宜子さんが名誉会長に就任されたところであり、今回の総会を経て、本会は、新たな体制での船出を迎えることができました。

今後とも、「明るく、楽しく、和やかに」の精神の下、本会が益々発展し、会員相互の親睦と郷土の発展のお役に立てるよう頑張ってまいります。

### [総会]

久保剛彦理事の司会で始まる。まず谷口博昭会長より挨拶。

その後ご出席が叶わなかった国会議員先生方の秘書さん、由良町長山名実、市長代理の方々をご紹介。

岸本周平和歌山県知事からはビデオメッセージをいただく。

引き続き、議事に入る。配布している資料（総会プログラム内）に沿って谷口議長のもと審議に



(谷口会長挨拶)



(岸本県知事からはビデオメッセージ)

入る。

議案第1号「令和4年度事業報告並びに歳入歳出決算」を提出。これに関連して東裕監事より「令和5年4月10日和歌山県東京事務所において、私を含め3人の監事で歳入歳出諸帳簿等の監査の結果、いずれも適正であることを認めました」と監査報告。異議なく可決。

議案第2号「令和5年度事業計画（案）並びに歳入歳出予算（案）」に移る。異議なく可決。

議案第3号「役員の変更について（案）」に移る。令和5年度は役員の変更年に当たるため、理事会において取りまとめた役員改選案を提案。異議なく満場の拍手で承認された。

この後、徳川宜子さんの名誉会長就任を報告し、総会の議事は滞りなく終了しました。

## [谷口会長への花束贈呈]

10年間という長きにわたり会長をお勤めいただいた谷口会長へ感謝を込めて花束贈呈。

今後は相談役としてさらなるご尽力を賜ります。



(花束贈呈)

## [新任役員の紹介]

新たに就任された徳川宜子名誉会長、続いて鈴木正規新会長からご挨拶。

続いて湯川 学新常任理事、角田典彦新理事、川島ケイジ新理事のご紹介がありました。



(徳川宜子名誉会長挨拶)



(鈴木正規新会長挨拶)

## [交流会]

引き続き久保剛彦理事の司会、瀧井道治副会長の乾杯の音頭で交流会が始まる。



(乾杯・瀧井道治副会長)

交流会に先立ってアナウンスにより各所から寄せられた祝電の紹介、ご寄付いただいた物品の発表をもってお礼にかえさせていただく。

フォレストレディーズ・スウィングオーケストラの和歌山ゆかりの演奏曲を楽しみながらしばしの懇談の後、出席者からのPRタイムが始まる。



(歓談の様子)



(フォレストレディーズ・スウィングオーケストラ)

## [PRタイム]

トップバッターは山名実由良町長で白崎海岸等由良町の魅力を存分にご紹介。



(由良町PR 山名町長)

続いて和歌山市、田中東京事務所長が東京から和歌山市をPR。



(和歌山市PR 田中所長)

田辺市は木村副市長がPR。



(田辺市PR 木村副市長)

川島ケイジさんから、クリスマスディナーショーのPR。



(川島ケイジ様)

紀友会の山本充彦会長からは県人会と共に和歌山を盛り上げたい思いと活動報告。



(紀友会PR 山本会長)

東京学生寮からは坂本寮長と学生の皆さんで学生寮のPR。



(学生寮PR 坂本寮長と学生の皆さん)

和歌山県からは税務課 大亦さんからふるさと納税PR、地域政策 中田さんから企業版ふるさと納税のPRがありました。

### [福引き抽選会]

各所よりいただいた寄贈品の抽選会に移る。県内市町村や関係企業の皆様から沢山の品を提供頂き、徳川宜子名誉会長と濱口道雄副会長の抽選により、豪華景品が次々と当選者に渡された。全員が当選したことから、全ての方を対象に2回目の抽選を行い、たくさんの景品にうれしいご感想をいただく。



(徳川名誉会長と濱口副会長による抽選)



(豪華で盛りだくさんの福引景品)

### [閉会]

副会長の濱口道雄さんの閉会の辞で令和5年度の通常総会も盛大に無事終了しました。

## 在京和歌山県人会役員名簿

(敬称略)

(令和5年11月12日～令和7年通常総会開催日まで)

職名	氏名	所属	出身地
名誉会長	徳川 宜子	株式会社石橋徳川建築設計所	和歌山市
会長	鈴木 正規	イオンフィナンシャルサービス株式会社	湯浅町
副会長	濱口 道雄	ヤマサ醤油株式会社	広川町
〃	瀧井 道治	株式会社SUMCO	橋本市
常任理事	上田 富三	アドソル日進株式会社	橋本市
〃	玉置 三郎	ニッケン株式会社	田辺市
〃	栢高 修	株式会社オリエンタルランド	古座川町
〃	杉若 吉彦	(一般財団法人) 国民公園協会新宿御苑	田辺市
〃	湯川 学	和歌山県東京事務所	串本町
理事	東 善彦	株式会社東農園	みなべ町
〃	洞 定治	アセット・インベントリー株式会社	古座川町
〃	久保 剛彦	株式会社チェンジホールディングス	田辺市
〃	岩崎 新太郎	ST不動産株式会社	新宮市
〃	植芝 守央	(公益財団法人) 合気会	田辺市
〃	大西 正悟	弁理士、大西国際特許事務所	九度山町
〃	神山 欣也	株式会社海光電業	有田川町
〃	神谷 和秀	3PLATZ株式会社	橋本市
〃	川口 雅敏	株式会社北辰広告	有田川町
〃	川島 ケイジ	ノーケレンティスト	みなべ町
〃	坂口 三代治	株式会社シビルデザイン	御坊市
〃	坂本 豊	株式会社アイ・テイ・コンサルティング	九度山町
〃	角田 典彦	三菱UFJニコス株式会社	和歌山市
〃	泰地 武	株式会社ウメタ	みなべ町
〃	竹中 宣雄	ミサワホーム株式会社	和歌山市
〃	濱口 吉右衛門	株式会社東濱植林	広川町
〃	平野 直人	株式会社相和技術研究所	かつらぎ町
〃	藤田 和子	弁理士、エルアイエル国際特許商標事務所	和歌山市
〃	淵上 洋治	マンダリン・オリエンタル東京株式会社	新宮市
〃	堀内 栄一	株式会社ホリウチ	橋本市
〃	本田 悦朗	国家基本問題研究所、TMI総合法律事務所	岩出市
〃	中村 泰明	株式会社紀陽銀行東京事務所	和歌山市
〃	山本 勝也	株式会社リバイテijapan	美浜町
〃	由良 禎造	ワイ・エス・ケー株式会社	和歌山市
監事	後地 俊男	東洋ケミカルエンジニアリング株式会社	古座川町
〃	森 聡郎	セガフレード・ザネットィ・ジャパン株式会社	古座川町
〃	東 裕	日本大学法学部	紀の川市
相談役	竹中 美晴	(公益財団法人) 海外漁業協力財団	みなべ町
〃	谷口 博昭	(一般財団法人) 建設業技術者センター	和歌山市

\*徳川名誉会長の任期の始期は、令和5年6月29日

## 令和5年度在京和歌山県人会 景品・寄付金提供一覧

(敬称略：順不同)

### 《 詰め合わせ記念品一覧 》

絹しょうゆ、テーブル用昆布ボン酢セット  
 ヤマサ醤油株式会社 会長 濱口 道雄  
 梅干しタッパーあかね(110g)  
 株式会社東京ウメタ 泰地 武  
 コーヒードリンク無料クーポン  
 セガフレード・ザネッティ・ジャパン株式会社  
 社長 森 聰郎  
 梅干しテトラパック、梅肉エキス黒飴  
 株式会社東農園 会長 東 善彦  
 フルーツようかん  
 紀の川市長 岸 本健

### 《 抽 選 景 品 一 覧 》

つりがねまんじゅう詰め合わせ 3組  
 レストラン あんちん  
 紀州梅香る鯛飯の素 5個  
 株式会社紀陽銀行  
 洋菓子舗ウエスト(ドライケーキ) 10個  
 アドソル日進株式会社 会長 上田 富三  
 ダイワロイネットホテル  
 全店ご利用可能ペア宿泊券 1組  
 ダイワロイネットホテル株式会社  
 ミヤクミヤクぬいぐるみ 2個  
 和歌山県知事 岸本 周平  
 ジンジャーエール6本セット 4個  
 和歌山市長 尾花 正啓  
 有田市認定みかんジュース飲み比べ  
 3本セット 2個  
 有田市長 望月 良男  
 三ツ星醤油(2本入) 5個  
 御坊市長 三浦 源吾  
 みかん(10kg) 1箱  
 田辺市長 真砂 充敏  
 地酒・徐福茶セット 5組  
 新宮市長 田岡 実千年  
 柿(2kg) 2箱  
 紀の川市長 岸本 健  
 産品詰め合わせ 3個  
 ジュース詰め合わせ 3個  
 紀美野町長 小川 裕康

ほりにし 8個  
 かつらぎ町長 中阪 雅則  
 りくぼくちゃん布トートバッグ 大・小  
 弘法大師誕生1250年記念散華セット  
 5個  
 高野町長 平野 嘉也  
 稲むら最中 10個  
 広川町長 西岡 利記  
 いちごジャムとソースのセット 5個  
 美浜町長 藪内 美和子  
 由良オリジナルハローキティのぬいぐるみ  
 5個  
 由良町長 山名 実  
 トマト梅(60g×6個入) 5個  
 みなべ町長 小谷 芳正  
 あゆとあまご一夜干しセット 3個  
 日高川町長 久留米 啓史  
 紀州銘菓かげろう(20個入り) 5個  
 白浜町長 井潤 誠  
 熊野やまももシロップ 5個  
 上富田町長 奥田 誠  
 匠創海ギフトボックス[花] 1個  
 匠創海ギフトボックス[桜] 1個  
 匠創海ギフトボックス[海] 1個  
 すさみ町長 岩田 勉  
 なかよし柚香ちゃん10本入り 5個  
 古座川町長 西前 啓市  
 じゃばら商品詰合わせ 5個  
 北山町長 山口 賢二

### 《寄 付 者 一 覧》

岩崎 新太郎	植芝 守央	上田 富三
後地 俊男	大西 正悟	川口 雅敏
坂口 三代治	杉若 吉彦	泰地 武
瀧井 道治	竹中 美晴	谷口 博昭
濱口 吉右衛門	東 善彦	東 裕
藤田 和子	洞 定治	堀内 榮一
森 聰郎	由良 禎造	湯川 学

《議 事》

議案第1号 令和4年度事業報告並びに歳入歳出決算について

(令和4年度事業報告)

- ・理事会2回開催
- ・県人会会報の発行

(令和4年度歳入歳出決算)

(歳入の部)

科 目	予 算 額	決 算 額	差 引	附 記
項 目				
	円	円	円	
会 費	1,905,000	1,785,000	△ 120,000	
寄 附 金	0	312,000	312,000	
広 告 料	0	80,000	80,000	
雑 収 入	2,000	2,753	753	
前 年 度 繰 越 金	629,554	629,554	0	
合 計	2,536,554	2,809,307	272,753	

(歳出の部)

科 目	当初予算額	流用増減額	予算現額	決 算 額	差 引	附 記
項 目						
	円	円	円	円	円	
事 務 費	920,000	20,000	940,000	903,298	36,702	
会 議 費	1,220,000	0	1,220,000	1,046,571	173,429	
事 業 費	330,000	0	330,000	276,098	53,902	
会 報 発 行 費	330,000	0	330,000	276,098	53,902	
予 備 費	66,554	△ 20,000	46,554	0	46,554	
合 計	2,536,554	0	2,536,554	2,225,967	310,587	

歳 入 合 計 2,809,307円

歳 出 合 計 2,225,967円

歳入歳出差引残金 583,340円(翌年度へ繰越)

令和4年度歳入歳出監査報告について

〔監査報告〕

令和4年度歳入歳出決算書について、歳入歳出決算書、諸帳簿等の監査の結果いずれも適正であることを認めます。

令和5年4月10日

監 事 後 地 俊 男  
 〃 東 裕  
 〃 森 聰 郎

議案第2号 令和5年度事業計画(案)並びに歳入歳出予算(案)について

(令和5年度事業計画(案))

1. 令和5年度理事会開催
2. 令和5年度通常総会開催
3. 県人会会報の発行
4. その他必要と認められる事業

## 令和5年新規入会員 ご紹介

(五十音順・敬称略)

令和5年に、次の18名の皆様が新たに在京和歌山県人会に入会されましたので、ご紹介させていただきます。

氏名	ご出身・ゆかりの地
あおき はるみ 青木 治美	印南町
いはら よしひで 井原 好英	紀の川市
うえだ みゆ 植田 實	御坊市
おおた たいじ 大田 泰司	新宮市
かじたに たいさく 梶谷 太作	紀美野町
きのした りょうた 木下 涼汰	かつらぎ町
こばやし じゅん 小林 淳	和歌山市
しま ひろあき 嶋 宏晃	和歌山市
すぎもと だいき 杉本 大貴	和歌山市
せきもと こうすけ 関本 皓介	和歌山市
そえだ たかひで 添田 隆秀	高野町
たまい ゆきお 玉井 幸夫	みなべ町
なかまえ ゆき 中前 由紀	美浜町 (お父様ご出身) 日高町 (お母様ご出身)
にしもと かずき 西本 和樹	和歌山市
はたの とみお 畑野 富雄	橋本市
やました まさはる 山下 雅治	和歌山市
やまもと きよたか 山本 清貴	広川町



(令和5年度歳入歳出予算(案))

(歳入の部)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
項	目				
会 費		円 1,925,000	円 1,905,000	円 20,000	
	普 通 会 費	600,000	650,000	△ 50,000	
	賛 助 会 費	525,000	555,000	△ 30,000	
	総 会 費	800,000	700,000	700,000	
寄 附 金		300,000	0	100,000	
廣 告 料		100,000	0	300,000	
雑 収 入		2,000	2,000	100,000	
前 年 度 繰 越 金		583,340	629,554	△46,214	
合 計		2,910,340	2,536,554	373,786	

(歳出の部)

科 目		本年度予算額	前年度予算額	差 引	附 記
項	目				
事 務 費		円 1,040,000	円 920,000	円 120,000	
事 業 費		1,350,000	1,220,000	130,000	
会 報 行 費		330,000	330,000	0	
予 備 費		330,000	330,000	0	
		190,340	66,554	123,786	
合 計		2,910,340	2,536,554	373,786	

議案第3号 役員の改選について(案)



おいしいしょうゆは赤い。



生(なま)しょうゆと火入れしょうゆの贅沢ブレンド。

絹しょうゆ 絹しょうゆ 減塩

口当たりやわらかく余韻のあるうま味、やわらかな塩味、豊かなコクとうま味の  
これ1本でおいしさの幅が広がる。 おいしい減塩しょうゆ。

毎日の食卓、キッチンに手軽に使える鮮度容器。

鮮度生活

特選 丸大豆しょうゆ 減塩しょうゆ

丸大豆を使用したうま味と華やかな香り、  
コク深いおいしさ。

一般的なこいくちしょうゆに比べ  
食塩分を50%カット。



ヤマサ醤油株式会社 www.yamasa.com



SHOKIBAI

## 本格梅酒 ブランデー仕込み

濃厚な梅の風味をロックでお楽しみください  
アルコール分21% 原酒

700ml 3,960 円(税込)  
化粧箱入り

300ml 1,595 円(税込)



**全国梅酒品評会 2023  
ブランデーブレンド梅酒部門  
金賞受賞**



ご注文受付はこちらから  
 当店ではお電話・FAX・インターネットでのご注文を承っております。  
 お電話 0120-47-8639 ■受付時間/ 9:00~18:00 (土・日・祝日は受付停止となります)  
 FAX 073-435-3900 ■受付時間/ 24時間・年中無休  
 ネット <https://shoki-bai.co.jp/>  
(前払金) (送料は別途) (代金引換) (24時間・年中無休)  
 本社(本店・配送センター)  
 〒641-0061 和歌山県高田1-5-24 TEL 073-436-5555 FAX 073-435-3900

飲酒は20歳を過ぎてから。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はやめましょう。お酒は適量を。



### 紀州梅専門店



**五代庵 GINZA TEL.03-3571-5858**

東京都中央区銀座8丁目2-10 誠和シルバービル1F  
 営業時間：月～金 11:00～22:00・土曜 11:00～18:00  
 定休日：日曜・祝日

**天満天神 五代庵 TEL.06-6882-0039**

大阪市北区天神橋1-17-6 (大阪天満宮正門前50m)  
 営業時間：月～金 10:00～18:00  
 定休日：日曜



## モンティグレ ダイワロイネットホテル和歌山は 2024年春、リニューアルオープンいたします。

ホテル客室をはじめ、レストランサンクシェール/宴会場/チャペルなど、  
今まで以上にみなさまに愛される施設を目指しリニューアルいたします。  
改装中にご不便をおかけいたしますが、何卒よろしくお願い申し上げます。



 ダイワロイネットホテル和歌山

[daiwaroynet.jp/wakayama/](http://daiwaroynet.jp/wakayama/)

改装の詳細は  
二次元バーコード  
よりご確認ください。▼

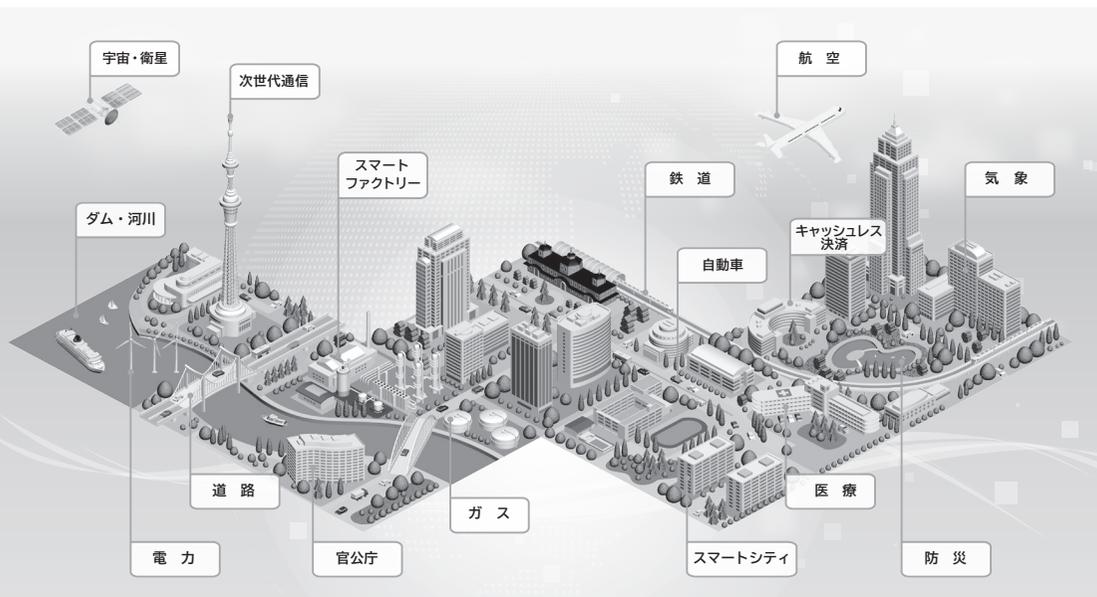




東証プライム  
証券コード 3837



## ICTとDXで、 デジタル社会の“あした”に貢献します。



# アドニッス日進株式会社

**事業内容** 独立系のICT企業として、  
「社会インフラ・システム」を中核に、「DXシステム」や、  
「オリジナル・ソリューション」の提供を行っています。

- 東京本社 : 東京都港区港南4-1-8
- 国内拠点 : 大阪、福岡、名古屋、仙台
- 海外拠点 : 米国・サンノゼ (シリコンバレー)  
ベトナム (ハノイ、ダナン、ホーチミン)



ウェブサイトは左のQRコードより  
<https://www.adniss.jp>



代表取締役会長 上田 富三  
(和歌山県 橋本市 出身)